

臨床研究に関するお知らせとご協力をお願い

当院で切除可能膵癌に対して超音波内視鏡下組織採取を留置された患者様へ

当院では、下記のような患者様個人への影響が皆無である観察研究（介入がなく、人体から取得された生体試料を用いず、既存の診療情報のみを用いる観察研究）を行っております。研究参加による負担・侵襲・介入（追加の検査・処置等）はありません。また、氏名や住所などの個人が特定されうる個人情報提供または公開される事はありません。この研究の対象者にあたる方で、ご自身の診療情報が研究目的に利用または提供されることを望まれない場合は、担当医（主治医）にお申し出下さい。

【対象となる方】

2020年4月から2024年9月の間に当院で、膵体部または膵尾部の切除可能膵癌に対して超音波内視鏡下組織採取（Endoscopic ultrasound guided tissue acquisition: EUS-TA）を施行された患者様（対象外の場合もあります）

【研究課題名】

切除可能膵体尾部癌に対する迅速細胞診を用いて穿刺回数最小化した EUS-TA の後ろ向き観察研究

【研究代表者（研究責任者）】

伊勢赤十字病院 消化器内科 村林 桃士
〒516-8512 三重県伊勢市船江 1-471-2
TEL：0596-28-2171

【診療情報の利用目的及び利用方法】

本研究の目的は、切除可能膵体尾部癌に対する EUS-TA の成績を検証すること、です。下記の診療情報が、検証・解析されます。診療情報は、研究代表者により適切に管理されます。

【利用・提供される診療情報】

年齢、性別、膵癌の部位、抗血栓薬使用とその種類、腫瘍長径、穿刺回数、穿刺針、穿刺の際の陰圧法、手技成功、病理診断の詳細、有害事象の有無と内容、EUS-TA が非正診であった場合の対応、術前化学療法の有無、術前放射線療法の有無、外科手術の内容、切除病理所見、切除しなかった場合における臨床経過

【研究の期間】

2025 年 4 月から 2025 年 12 月（この期間に、診療情報が提供・利用されます）

【診療情報の提供先・利用する者】

研究代表者：伊勢赤十字病院 消化器内科 村林 桃士 （病院長：楠田 司）

【診療情報が研究目的に利用・提供されることを望まない場合】

この研究の対象者にあたる方で、ご自身の診療情報が研究目的に利用・提供されることを望まれない場合は、担当医（主治医）までお申し出下さい。お申し出があれば、担当医（主治医）から診療情報が提供される事はありません。また、既に診療情報が提供された後である場合には、担当医（主治医）から研究代表者（情報提供先）に利用停止の要請を行い、以後の利用を停止します。お申し出による不利益は一切ありません。

【当院の研究責任者・問い合わせ窓口】

研究責任者 伊勢赤十字病院 消化器内科 副部長 村林 桃士

TEL：0596-28-2171